

※公式ホームページでは施設情報のほかイベントやブログを発信しているほか、旭山動物園だより・あさひやまどうぶつえんみにだよりなど各種発行物を pdf でダウンロードすることができます。



【2026年度・夏期開園】5/1(金)～11/3(火・祝) 開園時間9:30～17:15(最終入園は16:00) ※10/16(金)～11/3(火・祝)は9:30～16:30(最終入園は16:00)

公式ホームページ



旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎0166-36-1104

8/4アムールヒョウの「みらい」が出産しました
8/4夜9:50ごろ、1頭の子を出産。授乳はもちろん体をなめたり、かまってあげたりと子育ても順調です。親子の展示まではもうしばらくお待ちください。

写真:8/14 公式SNSより

写真:9/3飼育担当者撮影動画より

園内に聞こえてくる声がセミからコオロギに変化！
今年は7月上旬からたくさんエゾゼミが「ギーギー」と鳴いていました（昨年は7月下旬から）。今年は特に「数」が違いました。昨年集めた抜け殻の数はゼロ、今年は138個もの抜け殻を集めました。何でこんなに数が違うのでしょうか。エゾゼミは卵から羽化まで4～5年かかるそうです。一生のほとんどを地中で過ごします。今年のエゾゼミは何年前に木に産み付けられた卵から出てきたのでしょうか。そんな謎多きセミたちの声はもう聞こえてこなくなりました。旭川市の虫・カンタンやコオロギなどの鳴き虫たちの季節になったようです。

植物は秋を先取り!?
いろんな実が園内で見られます！

今年は旭川市の木・ナナカマドの実が豊作です。「わくわく広場」や「ちんぱんじー館」そばにあるナナカマドにはたくさんの実がついています。ほかにも、ブドウが紫色になっていますし、クリの木には、丸いイガがついていますよ！ 野外ステージ前や園路では風で落ちてきたドングリを見かけるようになりました。いろんな植物で秋を感じることができますよ！

アムールヒョウ放飼場のブドウ

ダチヨウ放飼場のクリ

8/5アビシニアコロブスの「アビ」が出産しました
背中、周り、尾にふさふさの白く長い毛がはえているアビシニアコロブス。生まれてしばらくは全身の毛がまっ白です。生後3～4か月で大人と同じ白黒の毛に変わります。

写真:9/7撮影

7/18・19にクジャクのヒナが生まれました
昨年に続き、今年も2羽のヒナを「クジャク舎」で観察することができます。生まれてから約2か月たちましたが、まだ母クジャクのそばにいる時間が多いようです。

写真:9/7撮影

マヌルネコの「ヒデ」が来園して3か月がたちました！
6/10に、名古屋市東山動物園から来園したオスのマヌルネコの「ヒデ」。だいが環境にも慣れ、放飼場内を活発に移動する姿が観察できるようになりました。これから冬に向けて、もこもこの冬毛になっていきます。「ヒデ」の冬支度はいつごろから始まるのか楽しみです。

第2こども牧場で「鳴き虫展」開催中！
9/7から、ブタの放飼場の横にある「第2こども牧場」で、園内で鳴いているキリギリスの仲間やコオロギの仲間などを展示する「鳴き虫展」を開催中。草むらから聞こえる声の主を間近に観察することができますほか、どうやって鳴いているのかが書かれた手書きパネルなども掲示されていますよ！ ※9月末まで開催予定

動物図書館で栽培している植物でアゲハチョウの仲間の幼虫を発見！ 飼育中です！
7/19は「キハダ」の葉に5mm ほどのナミアゲハの幼虫を、8/17には「ニンジン」の葉にキアゲハの幼虫がいるのを発見。植物の鉢ごとネットに入れて飼育していました。ナミアゲハもキアゲハも現在は蛹。このまま冬を越します。

ナミアゲハ
7/19 1齢幼虫 → 8/9 終齢幼虫 → 8/13 蛹化

キアゲハ
8/17 4齢幼虫 → 8/22 終齢幼虫 → 8/29 蛹化

イモムシ・ケムシも飼育中！
現在「キハダ」の葉を食べるミヤマカラスアゲハ、「タニウツギ」の葉を食べるクロスキバホウジャクを鉢植えの植物と一緒に飼育展示しています。セダカシャチホコの幼虫は、飼育ケースの土に潜り蛹の中で蛹に、オオケンモンは木の台の上で薄い繭をつくり蛹になっています。種によって蛹になる場所もそれぞれなのが興味深いですよ。

カブトムシとクワガタムシの繁殖もしています！
夏に園内でつかまえたミヤマクワガタ、コクワガタ、カブトムシのオスとメスを繁殖させています。ミヤマクワガタとカブトムシの産卵は確認済みです！引き続き飼育していきます。

今年「昆虫ハウス」で展示していた個体数が少なかったため、来年に向けて繁殖することにしました。温度や湿度に気をつけ、飼育していきます。